



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 株式会社電算 上場取引所 東
 コード番号 3640 URL <https://www.ndensan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 一太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 穂川 尚実 TEL 026-224-6666
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	11,114	7.5	559	45.9	567	48.4	384	55.6
2022年3月期第3四半期	10,340	—	383	—	382	—	247	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 385百万円 (54.7%) 2022年3月期第3四半期 249百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	76.64	76.50
2022年3月期第3四半期	49.38	49.28

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	18,325	7,646	41.7	1,521.75
2022年3月期	20,773	7,412	35.6	1,476.85

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 7,632百万円 2022年3月期 7,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2023年3月期	—	17.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	17,500	1.1	1,250	0.3	1,243	0.1	863	0.5	172.51

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2022年3月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	5,837,200株	2022年3月期	5,837,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	821,381株	2022年3月期	830,181株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	5,013,443株	2022年3月期3Q	5,001,805株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は続いているものの、行動制限や海外渡航制限の緩和等、経済社会活動の正常化が進み、緩やかに持ち直しました。先行きにつきましては、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されている一方で、ウクライナ情勢の長期化による原材料やエネルギー価格の高騰、供給面での制約等による景気の下振れや物価上昇による企業への影響等に引き続き十分注意する必要があります。

情報サービス産業におきましては、ソフトウェア投資は、緩やかに増加しており、今後につきましても、堅調な企業収益等を背景に、持ち直し傾向が続くことが期待されます。

このような状況のもとで、当社グループは、公共分野において、国による自治体システム標準化の動向を見据えた計画的なリプレース、行政のデジタル化に向けたシステムやサービス、マイナンバー関連のソリューション、また産業分野において、リース業向けのリース業務パッケージ、医療福祉機関向けの病院情報関連システムや医薬品在庫管理システム、販売管理システム、AI技術を活用した外観検査システム「Observe AI」やナレッジマネジメントシステム「SmartKMS」、AI-OCR等の提案及び受注活動に注力しました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、公共分野での長野県次世代業務環境構築業務等の案件や各種法制度改正対応及び産業分野での各種システム導入ならびに両分野における機器販売や保守等により、前年同四半期と比べ、増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,114百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業利益は559百万円（前年同四半期比45.9%増）、経常利益は567百万円（前年同四半期比48.4%増）及び親会社株主に帰属する四半期純利益は384百万円（前年同四半期比55.6%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

<公共分野>

定例業務である住民税・後期高齢者医療・国民健康保険・介護保険・選挙等の受託処理及び総合行政情報システム等のシステム保守のほか、基幹系システムの更新、長野県次世代業務環境構築業務や第2期長野県自治体情報セキュリティクラウド構築業務、新型コロナウイルス感染症対策に伴うワクチン接種券対応、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の対応、転出・転入手続のワンストップ化にかかる対応等により、前年同四半期と比べ、増収となりました。利益につきましては、標準準拠システムの開発にかかる研究開発への投資により、前年同四半期と比べ、減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,952百万円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益は370百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

<産業分野>

定例業務である口座振替、給与計算等の受託計算処理、インターネット接続サービス、リース業務パッケージ等のシステム保守及びデータセンターサービス提供のほか、販売管理システム・リース業務パッケージ・生産管理システム等の導入、広告管理システムのバージョンアップ、民間企業や医療福祉機関向けの機器販売や保守等により、売上、利益を確保し、前年同四半期と比べ、増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,161百万円（前年同四半期比6.6%増）、営業利益は178百万円（前年同四半期は1百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2,447百万円減少し、18,325百万円となりました。これは主に、リース投資資産が630百万円、商品が447百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が2,808百万円、無形固定資産が243百万円、建物及び構築物が187百万円及び流動資産のその他が146百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比較して2,681百万円減少し、10,679百万円となりました。これは主に、固定負債のその他が469百万円増加したものの、買掛金が2,268百万円、賞与引当金が329百万円及び長期借入金が262百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して233百万円増加し、7,646百万円となりました。これは主に、期末配当及び中間配当により175百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を384百万円計上したことによるものです。

なお、自己資本比率は、41.7%（前連結会計年度末35.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上、利益ともに好調に推移しております。

2023年3月期通期の連結業績については、公共、産業の両分野において売上が第4四半期から第3四半期に前倒しになった案件が発生したことによる影響、また、その他の各種案件の進捗による影響等を現在精査中であり、今後の見通しにつきましては不確定な状況であることから、2022年5月13日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想を修正しておりません。今後、通期業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,504,998	1,463,100
受取手形、売掛金及び契約資産	6,927,600	4,118,971
リース投資資産	986,615	1,617,277
商品	135,444	583,288
原材料及び貯蔵品	36,445	35,772
その他	1,008,358	861,512
貸倒引当金	△110	△5,103
流動資産合計	10,599,352	8,674,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,576,628	4,389,262
その他（純額）	2,138,773	2,142,649
有形固定資産合計	6,715,401	6,531,912
無形固定資産		
ソフトウェア	2,070,067	1,829,430
その他	19,328	16,616
無形固定資産合計	2,089,396	1,846,046
投資その他の資産		
その他	1,378,824	1,282,793
貸倒引当金	△9,677	△9,721
投資その他の資産合計	1,369,147	1,273,072
固定資産合計	10,173,945	9,651,031
資産合計	20,773,298	18,325,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,140,294	871,569
短期借入金	3,072,000	3,212,000
1年内返済予定の長期借入金	1,751,996	1,750,683
未払法人税等	143,669	—
賞与引当金	644,681	315,370
製品保証引当金	14,576	11,633
受注損失引当金	40,435	—
その他	1,744,400	1,543,393
流動負債合計	10,552,053	7,704,649
固定負債		
長期借入金	700,684	438,000
退職給付に係る負債	1,417,441	1,376,596
その他	690,490	1,160,297
固定負債合計	2,808,616	2,974,894
負債合計	13,360,670	10,679,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395,482	1,395,482
資本剰余金	1,088,124	1,086,700
利益剰余金	6,736,166	6,944,934
自己株式	△1,871,483	△1,841,952
株主資本合計	7,348,290	7,585,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,499	46,578
退職給付に係る調整累計額	△9,171	1,054
その他の包括利益累計額合計	46,327	47,633
新株予約権	18,010	13,507
純資産合計	7,412,628	7,646,307
負債純資産合計	20,773,298	18,325,850

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	10,340,472	11,114,035
売上原価	7,427,674	7,686,952
売上総利益	2,912,797	3,427,082
販売費及び一般管理費	2,529,591	2,867,822
営業利益	383,206	559,259
営業外収益		
受取利息	19	19
受取配当金	9,829	10,358
受取保険金	—	4,879
その他	6,153	8,462
営業外収益合計	16,002	23,720
営業外費用		
支払利息	16,953	15,027
その他	171	889
営業外費用合計	17,125	15,917
経常利益	382,083	567,062
特別損失		
固定資産除却損	4,989	—
投資有価証券評価損	—	1,256
特別損失合計	4,989	1,256
税金等調整前四半期純利益	377,093	565,805
法人税、住民税及び事業税	22,534	59,715
法人税等調整額	107,557	121,854
法人税等合計	130,092	181,569
四半期純利益	247,001	384,236
親会社株主に帰属する四半期純利益	247,001	384,236

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	247,001	384,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,877	△8,920
退職給付に係る調整額	11,054	10,226
その他の包括利益合計	2,177	1,306
四半期包括利益	249,178	385,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249,178	385,542
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。